

◎図書館の経費

図書館管理運営事業	【 中央図書館 】
------------------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

生涯学習:学ぶ意欲を持つ市民が学習することのできる機会や場が得られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 図書等資料を収集、整理・保存して一般公衆の利用に供し、生活に即した教養等に資するため。

効果 市民自らが文化的教養を高め、自己判断力の向上を目指すとともに、調査・研究等に活用されること。

【事業の内容】

(1) 資料収集・貸出事業

- ・効果的な資料収集を図るとともに、利用者のニーズに則した貸出業務、インターネット予約受付などを実施した。

(2) 図書館運営事務

- ・図書館業務に必要な嘱託員の配置と諮問機関としての図書館協議会の運営を図った。

(3) 図書館管理事業

- ・図書館の施設維持管理をはかり、良好な状態で利用できるように努めた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

図書館資料の充実(4-3-3-①)

図書館利用サービスの充実(4-3-3-②)

ブックスタート事業の推進(4-3-3-③)

図書館開館100周年記念の準備(4-3-3-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
154,231	155,231	152,018		3,213
主な支出内訳				
・ 資料収集・貸出事業				
近代史資料調査収集室嘱託員報酬 1人				1,680
一般図書資料等消耗品費				42,016
巡回業務等委託料				3,722
コンピュータ機器賃借料				21,503
・ 図書館運営事務				
図書館協議会委員報酬 4人				84
図書館業務嘱託員報酬 38人				45,418
ブックスタート協力者謝礼				141
旅費(嘱託員交通費等)				2,647
資料整理文具等消耗品費				1,862
ブックスタート図書等消耗品費				1,537
図書館振興事業負担金				800
・ 図書館管理事業				
図書館光熱水費				6,819
各所修繕料				2,271

電信料	1,776
総合管理業務委託料	10,937
設備等保守管理業務(夜間開館分)委託料	900
総合警備業務委託料	482
電動書架保守点検業務委託料	151
ボイラー清掃点検等業務委託料	142
冷凍機保守点検業務委託料	139
各種水槽清掃業務等委託料	326

平成20年度中央図書館事業実施状況

本年度購入した資料	27,584点
〃 寄贈を受けた資料	11,097点
〃 廃棄した資料	26,536点
所蔵資料数	572,135点

・貸出利用状況

	貸出登録者	貸出利用者	貸出資料数	予約受付件数
中央図書館	43,699人	延140,558人	380,063冊(点)	83,941件
腰越図書館	14,417人	延72,294人	219,047冊(点)	42,153件
深沢図書館	20,671人	延79,041人	211,197冊(点)	47,029件
大船図書館	25,789人	延105,743人	297,851冊(点)	77,929件
玉縄図書館	18,376人	延68,344人	199,928冊(点)	49,402件
小計	122,952人	延465,980人	1,308,086冊(点)	300,454件
団体貸出	9団体	—	3,088冊(点)	—
合計	122,952人、9団体	延465,980人	1,311,174冊(点)	300,454件

・その他の業務

	資料相談件数	複写サービス
中央図書館	18,242件	65,271枚
腰越図書館	5,736件	12,280枚
深沢図書館	4,054件	15,676枚
大船図書館	10,252件	13,109枚
玉縄図書館	3,631件	7,067枚
合計	41,915件	113,403枚

・視聴覚ライブラリーの使用

貸出資料数	
16mmフィルム	135点
視覚障害者用録音テープ	1,237点
デージー(視覚障害者用CD)	13点
貸出機器数	352台

・行事实施状況

	実施回数	参加人員
おはなし会	124回	1,716人
ブックスタート	48回	2,209人
講演会	3回	253人

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 課題として ○市民のニーズに応える資料の充実 ○レファレンス(資料相談)を含む図書館サービスの充実 ○子ども読書活動推進計画の推進 ○平成23年に迎える百周年に対し記念事業を準備 ○〔図書館とともだち・鎌倉〕との市民協働事業の実施 問題としては、中央図書館施設の老朽化に伴う施設の不具合。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・市民向けサービスとして ○図書リサイクルコーナーの全館での実施 ○中央図書館での多目的エレベーターの運用開始 ・利用サービスの低下を防ぐため、職員の退職による欠員については、嘱託員対応でなく職員を補充した。 ・百周年記念事業として資料収集を進めるとともに準備委員会で実行の準備を進めた。 ・策定された子ども読書推進計画に沿って、かまくら読書活動支援センターや鎌倉市子ども読書活動推進連絡会の組織作りの準備を行った。 ・中央図書館の施設面では、順次改修を行うだけでなく臨機応変に対応している。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・特に中央図書館施設の老朽化・狭隘化が問題。 ・ほぼ通年開館に近い状態の中、職員数が減り続ける一方で、「ブックスタート」事業や学校支援活動、各種「おはなし会」活動等に取り組み、新たに子ども読書活動推進計画の推進も含め、今後のサービスアップについては、質のよい人的資源確保が重要と考えられる。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・新中央図書館施設の構想も含め老朽化・狭隘化に対する具体的な対応が必要。 ・市民協働事業により市民の力を得て、より市民のための図書館を目指す。 ・今後、図書資料の貸出だけではなく、市民生活の諸課題解決に向けた支援活動(ビジネス支援・医療健康情報支援等)を充実させるためには、職員の専門能力の活用が必須となる。市民生活に役立つ情報の拠点として図書館施設・職員・資料費の充実が望まれる。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	図書館は、読書のための貸し出しに限らず、生活に役立つ情報の発信元として日常的に市民の利用も多く、ホームページアクセス数が市役所内で上位にランクされるなど関心が高い。市民モニターアンケート等でも、充実が望まれる施設としてあげられ市民要望も高いことから、図書館施設や資料等の一層の充実が望まれる。 施設の老朽化のほか、市民の課題解決支援、近代史資料室の充実等、実現すべき課題も多く、今後も努力を重ねたい。		
担当課長氏名:		中央図書館館長 望月 久子	

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	図書館は市民の身近にある施設として親しまれるとともに、子育て支援にかかわる児童奉仕サービスにも以前から力を入れており、限られた人員・予算の中で開館日の拡大など最大限の努力をしていると認識している。 また、資料相談など専門性が要求される業務などのレベルを上げる努力を継続するだけでなく、市民生活の知的側面からの支援など、今後の更なる展開が望まれる。		
担当部名	生涯学習部	部長名	金川 剛文